



千葉県マスコット  
キャラクター「チーバくん」  
千葉県許諾 第A3-17号

バスで行く！

# 千葉の小々な旅

BUS

第18回



今回の路線

小湊鐵道バス 茂28系統 上総牛久駅行





## 往年の名車、日産ディーゼル工業の「スペースランナー」が活躍中

JR外房線茂原駅と小湊鐵道線の上総牛久駅を結ぶバス路線を運行しているのは小湊鐵道バス。小湊鐵道グループのバス部門で、80年近い歴史を持つバス会社の老舗です。営業エリアは房総半島中央部のJR内房線・外房線と小湊鐵道線沿線で、内房は千葉市から木更津市にかけて、外房は東金市から勝浦市までにおよんでいます。

今回ご紹介する車両はこの路線で活躍する1台で、日産ディーゼル工業の「スペースランナー」(2000年製)です。「スペースランナー」は、かつて日産ディーゼルが製造・販売していた路線バス用の車両の総称です。日産ディーゼルは自社内に車体製造部門を持っていなかったため、ボディは主に富士重工業や西日本車体工業が製造したものを使用することが多かったようです。その後2010年に日産ディーゼルは「UDトラックス」へと社名変更。同じ2010年中にバス事業から撤退することとなりました。

つまり同社の車両は、今活躍している車両たちが最後の存在。こんな車両が見られるのも、歴史ある小湊鐵道バスだからこそ。ですがこの路線で長年にわたり活躍してきたこの車両が、取材後には惜しまれつつも引退が決まってしまいました。

そして同じく消えゆく運命にあるのが「方向幕」と呼ばれる行先表示器です。現在の主流はLED方式になっているので、こちらも見られなくなるかもしれません。

ですが歴史ある小湊鐵道バスの路線では、往年の名車の数々が現役で活躍しています。このような路線にぜひお出かけになってはいかがでしょうかでしょう。



◀スペースランナーの後ろ姿。後ろの行先表示器ももちろん「方向幕」です。シンプルに終点だけを表示しているタイプです。「方向幕」はバスマニアにとっても人気のだとか。

▶茂原駅に到着した日野レインボー(2023年製)。今では主流になりつつあるLED方式の行先表示器です。



### 路線バスのワンポイント知識

世の中には約170kmも走るバス路線(紀伊半島を走る奈良交通の「八木新宮特急バス」)があるかと思えば、わずか500mほどしか走らない路線バスも存在します。近鉄バスの大阪上本町駅と大阪赤十字病院を結ぶ「赤十字病院線」で、通院用のバスとして運行されていて、途中のバス停はなし。所要時間はたったの5分ほど。平日の午前7時台から18時まで運行されていて「日本一短いバス路線なのは」とも言われています。

# 茂原駅を出発。歴史ある街並みを経て 古刹「笠森寺観音堂」を目指す小さな旅

今回のバスで出かける小さな旅は、JR外房線茂原駅を出発、小湊鐵道線の上総牛久駅を目指すバス路線にある笠森寺観音堂を訪ねる30分ほどの旅。

出発点となる茂原駅ができたのはなんと1897年。駅前には広々としたロータリーがあり、駅舎を出ると気持ち良い空が広がっています。

駅を出発したバスはしばらく街中を走行。茂原市は明治時代に「南関東ガス田」が発見されたことで大きく発展した町。車窓から見える風景にもそんな歴史ある町を感じさせる個性的な個人商店がいくつも立っています。

十数分走行し、次第に樹木の緑が増えだしたころ、路線沿いに黄金の象が出現。金運増大で有名な「長福寿寺」です。このお寺のすぐ近くの路線沿いには地元で大評判、遠方から訪れる人も多い人気の大判焼屋「大判焼またの」もあります。

ここからはほぼ一本道。緩やかに蛇行する気持ち良い街道を走行して行きます。左右に一層濃い緑の風景が広がってきたころ、今回の小さな旅の目的地、笠森寺観音堂に到着します。

ちなみに、そのままバスに乗車していれば10分ほどで、まるでジオラマのようなかわいい木製の駅舎が印象的な小湊鐵道線の上総牛久駅に到着します。



今回の旅はJR外房線茂原駅からスタートです。駅前には広々としていて、商業ビルも多く、とても近代的に感じられます。

ペンギン  
ベーカリー  
茂原店

茂原駅

茂原駅南口  
スタート

地蔵堂  
氏御堂  
印輪神社

深山文具店

上総牛久駅

牛久駅



▲上総牛久駅

〈裏表紙でご紹介〉  
笠森寺観音堂

笠森  
ゴール

長福寿寺

愛宕町

大判焼またの



▲黄金の吉ゾウくん像

## みやま ●深山文具店

上総牛久駅のすぐ目の前にあるのが「深山文具店」。70年ほど前から親子3代続いているお店です。文具店ながらお菓子や生活必需品、コスメまで幅広い品ぞろえ。店頭が一番目立つ位置には、うれしいことにたくさんのお湊鐵道グッズも販売されています。

●問い合わせ／市原市牛久897  
TEL.0436-92-1801



## ●大判焼またの

長福寿寺のすぐ近くにある大判焼屋さん。皮が薄めで中身の具がぎっしりと入っている大判焼が大人気。定番のあずき、白あんのほかにもお子さんも大好きなクリーム、チョコ、珍しいハムマヨなどの大判焼もあります。

地元はもちろん、遠方からも多数のお客さんが来店します。

●問い合わせ／長生郡長南町長南895-2  
TEL.0475-44-5833



## ●ペンギンベーカリー茂原店

「北海道産小麦を使い、子どもからお年寄りまで毎日食べていただけるパン屋さん」をコンセプトに2016年、北海道恵庭市に1号店が誕生。2023年に茂原店が開店。

看板商品の「とべない食パン」やカレーパン、グランプリ4年連続金賞受賞の「海老カレーパンフォンデュ」が大人気です。

●問い合わせ／茂原市町保12-70  
TEL.0475-47-2228



## ●長福寿寺

天皇家勅願寺として1200年の歴史を有する由緒正しき寺院。現在は「金運アップ&日本一宝くじが当たる寺」として、年間約20万人が訪れています。境内にある象の石像「吉ゾウくん」は、足を撫でることで健康祈願や延命長寿、金運増大や家庭円満などさまざまなご利益があると言われています。

●問い合わせ／長生郡長南町長南969  
TEL.0475-46-1837



※現地の時刻表に基づき取材をしています。曜日・季節・天候により時刻表・ルートが変更になる場合があります。





## 森に囲まれた巡礼の霊場。大岩の上に建つお堂が圧巻!

今回の目的地、<sup>かさもりじ かんのおんどう</sup>笠森寺観音堂は784年に伝教大師最澄上人が楠の霊木で十一面観世音菩薩を刻み山上に安置し、開基されたと伝えられている場所です。十一面観音像が本尊であることから「笠森観音」と呼ばれ広く親しまれています。

街道から少し坂道を上り(かわいい猫が何匹もお出迎え)、巨木に囲まれた参道に足を踏み入れたとたん、荘厳な空気に囲まれたような気持ちにさせられます。

ひんやりと感じる空気の中、山頂を目指し細い道を上っていくと、途中には松尾芭蕉が詠んだ俳句の石碑や三本杉、くぐると子供を授かるといわれる「子授楠」など、見どころも多く点在しています。

山頂に到着すると眼前にそびえ立つ巨大な岩。その上を見上げれば何十本もの柱の上に立つ笠森寺観音堂の姿。思わず「おお!」と声が出てしまいます。ここは後一条天皇の勅願により1028年に建立

された日本で唯一の「<sup>しほう かけづくり</sup>四方懸造」として知られていて、国指定重要文化財となっています。

お堂正面の木造の階段を登った先にある回廊は、空中に浮かんでいるかのよう。そこから見ることのできる南房総の山々の見事な眺望、そして眼下には国指定天然記念物である笠森寺自然林の豊かな森の風景が楽しめます。



▲立派な山門があります。この奥に行くと笠森観音があります。

▼三本杉や「子授楠」など、見どころも多く点在しています。



●問い合わせ／**笠森寺観音堂**  
長生郡長南町笠森302 TEL.0475-46-0536



## イチ押しグルメ

### パティスリーメグン

千葉市緑区おゆみ野中央3-22-2 シャリオール1F  
TEL.043-308-4402

●営業時間／9:30～18:30

●定休日／毎週火曜日  
(火曜日が祝日の場合は水曜日)

## 季節のフルーツを多彩なスイーツに仕立てて提供する地元で大人気のケーキ屋さん

パティスリーメグンはおゆみ野駅から徒歩5分。地元で大人気、行列もできることの多いケーキ屋さんです。その人気の秘密は季節ごとに変わるフルーツを使ったケーキ。季節の旬のフルーツのジューシーな恵みをたっぷり味わえるケーキがいつも並んでいて、お店に行くごとに新しい季節の美味しさを楽しめる何とも幸せなお店です。

イチゴにメロンにマスカット、そして地元の房州びわ。そんな素材がパティシエの手によって多彩なスイーツに生まれ変わります。店頭に出かけて季節のフルーツとの出会いを楽しむのもいいし、こまかく新作情報が乗せられているフェイスブックやインスタをチェックして「それっ!」と出かけるのもいいですね。



## 「バスで行く!千葉の小さな旅」は、 今が最終号となりました。

2023年7月より毎月発行してきた冊子「バスで行く!千葉の小さな旅」は、2024年12月の本号をもちまして、全18回の最終号を迎えることとなりました。第1回から1年半、毎月お読みいただいた多くの方々にお礼を申し上げるとともに、本冊子の制作にあたり、情報のご提供や取材、撮影などにご協力くださいました各関係機関や施設、関係者の皆さまに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

2025年1月からは、新企画「もっと知りたい!千葉のおもしろ博物館」がスタートします。学びと発見の場所、博物館にスポットを当て、千葉県内の博物館の紹介をし、その魅力をお届けいたします。どうぞご期待ください!

京葉銀行広報グループ・制作スタッフ一同

取材協力・撮影協力・写真提供/小湊鐵道株式会社、深山文具店、大判焼まの、ペンギンバーカリー茂原店、長福寿寺、笠森寺観音堂、パティスリーメグン

2024.12(次回発行予定/2025年1月20日)

プラスαで、未来をとともに。

# 京葉銀行

ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌

検索

LINEからも「バスで行く!千葉の小さな旅」を配信しています。

## LINE 公式アカウント



この冊子の印刷には、環境に配慮した植物性インキを使用しています。